

## <PTA全体委員会(5月25日)報告>

■ <a href="#">平校長(PTA名誉会長)より学内報告</a>	1
■ <a href="#">平澤PTA会長より挨拶</a>	2
■ <a href="#">分科委員会</a>	3
L 総務委員会	
L 行事委員会	
L 新聞委員会	
L 会報委員会	
L PTA活動推進委員会	
■ <a href="#">編集後記</a>	5



## 平校長(PTA名誉会長)より学内報告

麻布学園PTA役員の皆さま、こんにちは。年度当初のたくさんの行事を経るなか、気がつけば早くも5月末を迎えることとなり、いつの間にか1学期も半ばを過ぎました。先日はPTAの書面総会で各種議案をご承認いただき、このたび、晴れて新体制が発足いたしました。あつく御礼を申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

文化祭後の学内の報告をいたします。5月15日(水)の2時間目に全校避難訓練を実施しました。強い地震が起きたとの想定のもと、教室での危難防止とヘルメットを着用してのグラウンドへの避難を行いました。生徒、教職員とも整然と集合、点呼が行われ、最後に校長の私から訓示を行いました。このような避難訓練は毎年、テーマを地震、火災と切り替えながら行っています。時には麻布消防署の署員の方が立ち会うこともあります。災害発生時にも、お預かりしているご子息の安全のために万全を尽くしたいと考えています。

5月19日(日)は学園創立者江原素六先生の逝去日にちなみ、先生ゆかりの沼津にて、公益社団法人江原素六先生顕彰会の主催で記念祭が行われ、本学園からは吉原毅理事長と私が参列いたしました。当日は沼津市長をはじめ、国会議員、県議員、市議員、教育関係者、茶業関係者など100名近くの参列があり、先生のご遺徳をしのびました。10月の秋の学年行事では中学1年生全員が先生のお墓参りで沼津を訪れることとなります。そして、5月22日(水)の道德の時間、中学1年生は全員、講堂で校長講話「江原素六の生涯」を聴講しました。前校長時代から毎年実施している催しですが、今回は私が各クラスを回って実施する形式から、一堂に会したところでプレゼンを行う形としました。新入生諸君に創立者の学園設立に込めた思いを理解してもらえればと願っています。

来週は中間試験が始まります。生徒諸君にはこれまでの学習を振り返り、よく勉強して臨んでほしいと思います。

## 平澤PTA会長より挨拶

みなさまこんにちは、H2平澤です。先日行われた総会については、みなさまを含め多数のご信任をいただきありがとうございました。

また、昨年度総務の方々は大変お疲れさまでした。

委員決めの日にも申し上げたことですが、今年一年一緒にこのメンバーで委員をやった結果として、楽しかったと感じていただけるような一年にしたいと思っています。

そのために、委員のみなさまにもご協力をいただきたい点ではありますが、活動計画にも書いたように「PTA委員をはじめ全ての保護者や教職員にとって望まない負荷のかからない運営」を目指したいと思います。

具体的にはまず、みなさまぜひ、このPTA活動より、お仕事やご家族ご家庭など、ご自身の都合をご優先ください。

また、各分科委員会での活動や各クラスでの活動などそれぞれ具体的にあるかと思いますが、それらによって私たち保護者がお互いに、また先生方と、いろいろなことを気楽に話し合える関係を構築していけたらと思っています。

そんな1年を、みなさまと一緒に過ごせることを、私自身楽しみにしています。

これから1年どうぞよろしくお願いいたします。

## 分科委員会 (1/2)

### 総務委員会 (PTA総会およびPTA全般の活動支援)

総務委員会はPTA活動全般の事務局的な役割を担っています。PTA会計、父母の会ご担当の方も含め、今年度は合計13名で運営していきます。PTAメンバーが楽しく、過度な負担を感じることなく活動ができるよう、踏襲すべきこと、見直すべきことを柔軟に調整していこうと考えています。事務的な仕事も多い一方で、PTA活動がどのようにして成り立っているのかを知ることでできるやりがいのある役割であると感じています。1年間、円滑でシンプルな運営ができるように取り組んでいきます。PTA会計は、必要な費用を適切に配分し、使用状況を管理する役割を担っています。

また、父母の会では、東京都私立中学高等学校父母の会中央連合会第二支部(港区)の会員として、父母が負担する教育費の公私間較差を是正し、さらに増額を求めるために活動しています。今年度も9月の「私学振興拡充大会」(私立学校教育の充実のため助成維持・拡充をお願いする会)の参加についてご案内する予定です。

### 行事委員会 (文化活動の企画・運営)

昨年は麻の葉講演会、ファミリーコンサート共に大盛況となり、リサイクル販売会も滞りなく終えることができました。今年も皆様の心を震わす行事を目指して、プランニングの最中です。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 分科委員会 (2/2)

### 新聞委員会（年3回の発行の「麻布PTA」編集）

新聞委員会は、年3回のPTA新聞を発行しております。保護者にも生徒にも楽しんでいただける学校行事の様子や各号の新聞委員メンバーが駆使した麻布を知ることができる企画を取材して掲載しております。

今の麻布のリアルを、四面の中にぎゅっと凝縮させた盛り沢山の紙面となっております。

各号すでに動き出しておりますが、まずは猛暑予定の7月にお手元に届く、1号の色鮮やかなキラキラとした紙面を楽しみにしててください！

### 会報委員会（年度末発行の会報誌を編集）

今年度会報のテーマは「AZABism」としました。6月の保護者懇談会にて、寄稿募集のご案内とともに皆様にお披露目する予定です。アザビズムってどういう意味？麻布らしさ、麻布の個性？そもそも麻布らしさって何だ？麻布ism, 麻布の流儀など存在するのか？そんなものを定義する・考える必要があるのか？などなど、色々な声が聞こえてきそうですが、あえてそこを限定せずに、色々な角度からのcontributionを頂ければという思いです。その他、色々な楽しい特集を企画し始めております。委員長を除くメンバー皆様のモチベーションが非常に高いので、今年度も面白い会報誌が出来上がりそうです。乞うご期待！

### PTA活動推進委員会 (PTAウェブサイトの管理運営および次期会長候補の選考)

麻布学園のホームページへPTAの活動を掲載しております。5月は、PTA総会の開催・結果を掲載致しました。

今後は、次年度のPTA会長選出を進めてまいります。

## 編集後記

2024年度のPTA活動が新たなメンバーで本格的にスタートしました。

クラス委員になった経緯をお聞きすると、「進んで手を挙げた」「誰からも手が挙がらないので沈黙に耐えられなかった」「麻布と麻布生の『箱推し』なので引き受けた」「息子が学校のことを何も教えてくれないので、学校を知るために引き受けた」「委員選出に時間が掛かりすぎて、先生が気の毒だったので引き受けた…」など様々であり、やむを得ず引き受けた、という方も少なからずいらっしゃるのが実情です。そのため、実際に活動が始まり、平澤会長から「無理なく、楽しく」という方針が朗らかに示されると、皆一様にほっとしつつ、一方で、「ひとたび引き受けた以上はよりよい物を作ろう」「せっかくだから楽しもう」という気概のある方がとても多いと感じました。

PTAはあくまで任意団体ですので、無理なく楽しく出来ることが大切であると同時に、委員だけの独り善がりにならず、会員である保護者の皆様に開かれた、風通しの良い団体であることが重要だと感じています。そのためにも、このPTA通信を通じ、保護者の皆様に「麻布のPTAって楽しそうだな」と思っていたら、さらには学校と保護者を繋ぐ架け橋となれるならば、こんなに嬉しいことはありません。

今回ご紹介した各分科会の活動以外に、6月15日には保護者懇談会後にPTA主催のクラス懇親会が予定されています。皆様奮ってご参加ください。

私自身は3年ぶりのPTA活動です。当時PTA通信を担当なさっていた保護者の方の編集後記が素晴らしく、毎号楽しみにしていたのですが、今度は自分自身がその担当となり些か緊張しています。とはいえ、「無理なく、楽しく」、PTA活動の様子を発信して参りたいと思います。1年間お付き合いのほどどうぞよろしくお願いいたします。